



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

日本人のルーツとアイデンティティ

文星芸術大学附属中学校・高等学校校長

上野 憲 示



遠く日本人の先祖はというと、三百万年前、アフリカの大地溝帯(オルドバイ峡谷)で猿から分かれて誕生した猿人が、三系統で進化したうちの北方モンゴロイドに組するという。そのルーツは、最近の血液型の遺伝子パターン(シア)の分析によると、ロシアのバイカル湖畔のブリアート族が最も近いと判明した。日本列島に旧石器人の存在は確認できるものの、本格的には、一

万二千年前頃より縄文人が大陸からマンモスやナウマン象を追って日本列島に移り住み、各地で木の実や蛙、小動物を採っての小規模な竪穴式住居の生活を始めて以来という。その後八千年前頃から、青森の三内丸山遺跡のような大規模な村落も次々と成立し、交易も行われたという。そして二千三百年ほど前から朝鮮半島より後発流入した弥生人の列島支配である。稲作による計画経済と金属器を武器に先住民を北へ(アイヌ人)、南へ(沖縄人)と押しやり中央部では混血をし、今の日本人の原型を築いたという。九州の吉野ヶ里遺跡が弥生の大

規模な環濠集落(邪馬台国の記述に近似)である。その後、古代の戦乱時代を経て天皇家の先祖である大和朝廷が統一を成し遂げたのである。稲荷山古墳出土鉄剣の象眼銘からは、五世紀、倭王の武と雄略天皇のころには列島の中央部大半が既にその版図であったと知れる。さて、その日本人の特質であるが、遠く蒙古系騎馬民族の血を引くといえ、日本列島という島国であり、温暖で凌ぎやすい気候風土に培われた自然環境が日本人の心情や国民性の特徴づけている。すなわち、着るものを僅かに調整すれば凌げる体にやさしい気候と穏や

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

かな山河、時折霧にむせる湿潤な大気、春の桜・初夏の新緑・秋の紅葉・冬の雪と目に鮮やかな四季の彩りから、日本人の感性と美意識は研ぎ澄まされて、小さな虫の音や小鳥の囀りにも心を震わせる抒情性豊かなものとなった。大陸から切り離された島国ということ、歴史的にも外国に本土を蹂躪されることはほとんどなく、外国の制度・文化の取り入れも熱酔の期間を置き国風化するなど、適宜コントロールしてきている。井の中の蛙的小市民性は指摘されても、物まねというか応用力に長けた点や、日常生活においては極力トラブルを避け、外へ向けては大和魂で内部団結できる良さ、けばけばしい原色を避け、自然に学び自然に溶け込むような明度・輝度を抑えた色調を好む美の感性等々、特筆できよう。

国際化の中、身近に外国人と接する機会が多くなつた今日。ならばこそ、日本人の日本人らしさ、アイデンティティ、その慣れ親しんだ感性を再認識すべきであり、今こそ、よき伝統、よき生活風習をしつかりと自分のものとしていく努力を自らに課すべき時であろう。

中学校行事予定

- ▽六月
- 1日(火) 衣替え
 - 4日(金) 宇河中教研教科部会(授業四校時まで)
 - 5日(土) 日本伝統文化(茶道)
 - 8日(火) 第100回創立記念日
 - 9日(水) 社会科見学
 - 9日(水) (日光東照宮・植物園)
 - 11日(金) 社会科見学予備日
 - 12日(土) 実用英語検定(一次)
 - 17日(木) ボランティア実践
 - 26日(土) 宇河中教研教科外部会(授業四校時まで)
 - ▽七月
 - 1日(木) 2日(金) 期末考査
 - 3日(土) 私学模試(主学年)
 - 10日(土) 日本伝統文化(茶道)
 - 11日(日) 修学旅行保護者オリエンテーション
 - 13日(火) 実用英語検定(二次)
 - 17日(土) 中大連携授業
 - 20日(火) 学習会
 - 20日(火) 第一学期終業式

高校行事予定

- ▽六月
- 1日(火) 衣替え
 - 3日(木) 5日(土) 総合学力マーク模試(三年)
 - 5日(土) 同窓会総会
 - 8日(火) 第100回創立記念日
 - 9日(水) 新入生歓迎校内体育大会
 - 10日(木) 校内体育大会予備日
 - 10日(木) 12日(土) 保護者会
 - 11日(金) 実用英語検定(一次)
 - ▽七月
 - 1日(木) 6日(火) 期末考査
 - 9日(金) 10日(土) 総合学力記述模試(英三年)
 - 10日(土) 総合学力テスト(英二年)
 - 11日(日) 実用英語検定(二次)
 - 16日(金) 学期末行事
 - 16日(金) 総合学力記述模試(普通三年)
 - 20日(火) 総合学力テスト(普通二年)
 - 20日(火) 第一学期終業式

- 1p <学校長より>
- 2p <新年度にあたって>
- 3p <新任教員紹介・文星散歩道⑨>
- 4p <輝け!文星健児・検定試験>
- 5p <新年度を迎えて>
- 6p <新任教職員紹介>
- 7p <宿泊体験学習・日本伝統文化>
- 8p <文星フォトギャラリー>

高等 学 校

新年度にあたって

ライバルは
「昨日の自分」



副校長 富田 誠

運動や勉強がうまくいっている友人を見て、自分はこのままでいいのかと悩んだりしていませんか。そんなあなたに、自分と他人を比べないようにする癖をつけることをお勧めします。試合に勝つことや、いい成績を修めることは重要です。ただ、他と比べて勝ち負けばかり意識していると楽しくありません。自分と他人は別物と割り切るほうが、次の確な一歩を踏み出すことができるのです。私にも、努力したのに結果が出なかったことは山ほどあります。でも、いつも、これが昨日の自分の能力だと悟り、次から頑張ろうと思ったものです。そこには、「今の自分を昨日の自分と比べてみる」「今の自分がい

挨拶の励行



1 学年総務 富永 一巳

たのです。目標や理想に近づくために、他人ではなく「昨日の自分」をライバルにする。人生も楽しくなり、自分が成長する様子を穏やかな目で見る事ができるのです。

年度当初、教育目標の中に「挨拶」をかけた、生徒への周知徹底はかかってきました。多くの生徒達は、廊下等で会うと「今日は」と、大きな声で挨拶をしてくれました。こちらからも「今日は」と返します。何と気持ちのよいことでしょう。中には声が小さかったり、そのままだけで通ってしまう生徒もいますが、皆が挨拶できるようになってもらいたいと思います。

私たちの生活は常に挨拶に始まり、挨拶で終わります。これは近い将来、社会生活を送る中で「心」と言えるのではないのでしょうか。私たちは多くの人々（家族・友人等）に支えられ生き

「Start!」



1 学年主任 大越 研介

ています。その中で常に「感謝」の気持ちを持つことが大切です。いくら勉強ができて、スポーツに長けていても「挨拶」のできない者は、道徳的な基礎精神が欠如していると考えます。明るい笑顔で他人に接すること、敬愛され、信頼される人間になれるのではないのでしょうか。

真新しい白線が引かれている。全員がそのラインに並ぶ。スターターが叫ぶ、「ready」「バーン！」全員が飛び出す。走り出して10m、20m。今はそんな時期でしょう。君たちは、ユニホームもスパイクも新しく、そして走るコースも周りのライバル（友達）も新しい。暖かい陽気の中、涼しい風が吹き抜けてゆく。

「start」とは、そんなものです。

これから流れに乗り、序盤から中盤にさしかかっていきます。苦しい時がある



でしょう。もうレースをやめたくなくなるときがきつとあるはず。先を見れば早いランナーが、後ろを見れば遅いランナーが、それぞれ走っています。少しペースを落とそうか、ちよつとだけ休んでみようか、その時、隣のランナーをのぞき見る。必死の形相で走っている者、涼しい顔で走っている者、いろいろな者。辞められない。だからゴールまで走りぬく。レースとは、そんなものです。

君達もこの「文星芸術大附属高校」というフィールドの中でスタートを切ったからには、「卒業」というゴールを目指して走り抜けてほしい。そして次に、「人生」というレースにステップアップして走り出してほしい。客席の上から、フィールドの横のベンチから大きな声で、心の底から応援しています。

平成二十二年 度
学年担当職員

《第一学年》

総務 富永 一巳
主任 大越 研介
副主任 小菅 光春
生徒指導 直井 秀幸
学級担任 雪野 賢

《第三学年》

副担任 岡嶋 陽子
六組 小林 秀晃
七組 根本 哲也
八組 住森 克己
九組 田島 基行
十・十一組 田村 伸也
十二組 南木 和喜
十三組 笹沼 芳孝
学年付 瀧島 一利
学年付 石井 隆詞

《第二学年》

総務 鈴木 幸夫
主任 千代野 仁
副主任 白石 一徳
生徒指導 長谷川 聡
学級担任 荒井 祐也
一組 荒井 幸弘
二組 高橋 幸弘
三組 福田 伸夫
四組 坂巻 和弘
五組 敦志

総務 山口 和正
主任 岩泉 徳栄
副主任 荒川 喜昭
生徒指導 渡辺 誠
学級担任 梶川 崇
一組 佐藤 史徳
二組 安達 佳奈子
三組 桐山 英樹
四組 関塚 貴光
五組 高木 肇
五・六組副担任 田中 恵
七組 中田 裕市
八組 島田 和明
九組 守谷 淳子
十組 佐藤 輝明
十一組 田口 純平
十二・十三組 西牟田 浩章
副担任 尾田 大輔
十四組 荒井 千穂
十五組 阿部 克美
学年付 石渡 佑一郎
学年付 星野 英雄

新任教員紹介



伊澤 正男
数学科
(英進科専任)

伝統ある文星芸大附属高校の創立百年という節目の年に着任できたことを大変うれしく思っています。さて、本校では、三敬精神とともにライオン主義を掲げています。私は、この言葉から有森裕子さんの講演会を想い出しました。有森さんは、一九九二年バルセロナ五輪で銅メダルに輝いた人です。彼女の粘り強い走り、ゴール後の「はじめて自分で自分をほめてあげたい」という言葉は、今でも多くの人々に深い感銘を与えています。「股関節脱臼で生まれ、高校時代は万年補欠、大学時代もふるわない成績だったが、私は人より優れたものがないから一生懸命がんばるしかない」という有森さんの生き方こそ、本校のライオン主義を実践してきた姿ではないかと思つたのです。生徒の皆さんも、真の友人と励ましあい、学習とともに心や体を鍛え、卒業するときには、胸を張って「十分やりきった」と言えることを期待しています。



野村 勇司
理科
(常勤講師)

皆さんこんにちは。本年度より理科を担当いたします野村と申します。日々熱いエネルギーに満ち溢れた本校で勤務させて頂いて心より幸せを感じております。四月より教員として勤務しながら、自分の高校時代と皆さんを重ね合わせる必要があります。高校時代の自分に不足していたものは何だったのだろうかということをも改めて考えるようになり、そのひとつが「行動力」だったのではないかと思います。何か目標とするものを獲得する上では「行動力」というものが重要になってきます。十代、特に高校時代は未来の可能性に向かって挑戦するための人生でも貴重な時期だと思えます。自分の失敗を踏まえつつ、青春真っただ中の皆さんに生きるヒントを伝えていけたらこんな素晴らしいことはないと思つています。皆さんとともに私も精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



河上 倫典
国語科
(非常勤講師)

福島大学を卒業し、本年度より、非常勤講師として、国語の授業を担当させていただきます。河上倫典と申します。私は高校三年間を文星で過ごし、大学の四年間を経て、立場を変えて戻って参りました。在校当時は、英進科に在籍して、部活動は駅伝をやっていました。そのため、学業や部活動、また進路について悩むことも多々ありましたが、そのようなときは、多くの素晴らしい先生方が私を支えて下さいました。今の私があるのは、そのような文星の先生方のおかげだと感じています。これからは、文星の一教師として、また、文星の卒業生として、後輩にあたる多くの生徒を支えたいと思つています。まだまだ半人前の未熟者であり、至らない点は多々ありますが、できることを精一杯頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

生徒会がどうなれば

生徒会長の横山です。最近は暑い日が続く、プール開きが待ち遠しい季節になりました。暑いからといって服装をだらしくしたら駄目ですよ。

さて、この暑い季節をより熱くする毎年恒例の新入生歓迎校内体育大会が今年も開催されます。今年は何をやるかという、サッカーは前年と同じですが、なんとバレーボールがドッチボールに変更になりました。この変更は小さな事かもしれませんが、

れませんが、生徒会にとつては大きな一歩です。ドッチボールは今回が初めての試みなので何か不備があるかもしれません、そこはご愛嬌ということよろしくお願いします。

さて、この度、生徒会に一年生、二年生から新たに五名の役員が加わりました。これで生徒会にすべての学年がそろいました。これからは全校生徒が皆楽しい学校生活を送れるように、我ら生徒会は尽力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

一日の旅



四月二十三日(金)に、一日バス旅行が行われました。朝早い集合時間にも全員遅れずに集合し、賑やかに那須ハイランドパークへと向かいました。

前日の那須地方は、少し雪が降った様子で、肌寒い中での遠足となりました。滞在時間は約五時間でしたが、入学したばかりの一年生や、クラス替え後の二、三年生も今回のバス旅行を通してクラスメイトとの仲が深まったようです。

文星散歩道

(題字 大木第二教頭)

④ 「慣れ」を「鈍さ」に変えないように

数学科 福田 和 弘

「文星芸大附 NOW」の原稿締め切りを直前に控え、何をしようか悩みつづつコーヒーをすすったとき、ふと思つた。「いつの間にかコーヒーを飲めるようになったのだろうか。」

小学生の頃まではあの苦味が大嫌いで受け付けなかったはずが、今ではブラックのままで一日何杯飲むか数えきれない。独特の香りや味に目覚めたなど格好良い理由ではなく、単純に苦味に慣れたら、もつとも、そのお

り身体が発する「警報」に気付かず健康を損なうてしまつては本末転倒だ。「慣れ」が過ぎ、「鈍さ」になることで悪い結果を招くことになる。今さらながら怖さを感じた。

本校で教壇に立つて今年で八年目。「慣れ」を「鈍さ」に変えないようにしなければならぬ。常に関心と疑問を絶やさず、日々を精一杯過ごしていこう。

そう思つてもう一口コーヒーを飲んだら、心なしかさつきよりほろろ苦く感じた。

輝け! 文星健児 部活動報告

四月から五月にかけて各会場で行われた、栃木県高等学校総合体育大会(以下「県総体」)のおもな結果を報告します。

※英Ⅱ＝英進科(普)Ⅱ普通科

六月に行われる関東大会に、今回5団体の出場が決まった。各クラブとも、関東の舞台で文星健児の底力を発揮し、一戦一戦を全力で戦い抜くことを願いたい。

バスケットボール部

県総体準優勝

関東大会へ

本校バスケットボール部は、五月八日(土)、九日(日)に、栃木市体育館で行われた県総体決勝リーグに進出し、宇都宮工業、宇都宮東、宇短大附属とともに、六月五日(土)から小山市、栃木市で開催される関東大会出場が決まった。地元開催の関東に向けて、リーグ戦全勝で弾みをつけたかったが、ライバル宇都宮工業に1敗を喫し、惜しくも準優勝となった。

卓球部

県総体団体3位入賞

個人・ダブルスとともに

関東大会へ

本校卓球部は、五月一日(土)から三日(月)にかけて県内各会場で行われた県総体で善戦した。一日目に行われた団体戦の決勝リーグにおいて、作新学院、栃木工業、青藍泰斗と優勝を争った。作新と青藍相手に黒星がついたが、3位入賞を果たし、六月四日(金)から宇都宮市体育館で開催される関東大会出場を決めた。また、ダブルスでは3位入賞を果たした堀光希(普三年)・澤島雅孝(普二年)組、シングルスは堀選手(5位)・澤島選手(9位)、橋本祐太選手(普三年12位)が同じく関東へ駒を進めた。

剣道部

県総体団体3位入賞

個人とともに関東大会へ

本校剣道部は、四月二十三日(金)、二十四日(土)に清原体育館で行われた県総体に出場した。団体戦において、今大会の覇者佐野日

大に敗退したが、3位決定戦を勝利で飾り、六月五日(土)、六日(日)に同会場で開催される関東大会出場を決めた。また、個人戦では、阿久津翼選手(普三年)が4位入賞を果たし、同じく関東大会出場権を掴んだ。

陸上競技部

投擲石川選手4位入賞

北関東大会へ

五月八日(金)から十一日(火)に、県総合運動公園陸上競技場で行われた県総体において、ハンマー投げで本校の石川稜選手(普二年)が4位、円盤投げで8位に入賞し、六月十八日(金)から茨城県ひたちなか市笠松運動公園で開催される北関東大会出場を決めた。また、安達卓也選手(普一年)が砲丸投げで7位、半田颯太郎選手(英三年)がハンマー投げで8位入賞を果たした。

《ハンマー投げ》

石川 稜 41.58(4位)

柔道部

県総体団体5位入賞

関東大会出場

本校柔道部は五月八日(土)、九日(日)に県武道館で行われた県総体に出場。団体戦

において5位入賞を果たし、六月十一日(金)から東京武道館で開催される関東大会に駒を進めた。

テニス部

県総体団体3位入賞

五月四日(火)、六日(木)に県総合運動公園テニスコートで行われた県総体で本校テニス部が活躍した。団体準決勝、本校テニス部は強豪足工大附属と対戦。関東大会出場をかけて熱戦を繰り広げ、惜しくも敗退したが、その後の3位決定戦では作新学院を下し、3位入賞を果たした。

検定試験取得状況

(五月末現在)

.....

第4回全商スピード認定試験

【一級】

鈴木 将太

【二級】

小池 祐貴 鈴木 亮

【三級】

橋本 拓也 高橋 寛樹

小川 智也 暮林 翔真

根津 邦彰 佐藤 孝紀

阿久津友汰 榎本 昌広

大久保雄気 小林 祐輝

高屋敷雄太 平野 幸冬

第161回全経簿記検定

【工業簿記一級】

齋藤 和鷹 前嶋 瞭

【三級】

小川 智也 暮林 翔真

小池 祐貴 鈴木 将太

鈴木 啓之 鈴木 亮

田中 智也 戸崎 成也

長澤 颯汰 根津 邦彰

橋本 拓也 屋代 幹人

阿久津圭汰 伊坂 栄輝

園部 大樹 西片 光一

樋口 武志 望月 俊治

阿久津友汰 小林 祐輝

別井 健人 齋藤 和鷹

伊藤 雅人

小池 祐貴 手塚 良

前嶋 瞭 木葉 泰輔

高林 将太 設楽 由宇

瀧 雅行 山本 勇氣

鈴木 啓之 鈴木 亮

宗像 謙 阿久津友汰

榎本 昌広 熊谷 敏基

高屋敷雄太 平野 幸冬

別井 健人 潮田 祐二

川上 陽平 橋谷 将人

三沼 孝佳 鈴木 康平

大関 翼 加部 文隆

下山 尚孝 生井 勝

関谷 陽太

戸崎 成也 根津 邦彰

【三級】

【三級】

【三級】

【三級】

【三級】

【三級】

第96回全経電卓検定

【六段】

齋藤 和鷹

【四段】

伊藤 雅人

【二段】

高林 将太

【二段】

鈴木 啓之

【二段】

宗像 謙

【二段】

榎本 昌広

【二段】

高屋敷雄太

【二段】

別井 健人

【二段】

川上 陽平

【二段】

三沼 孝佳

【二段】

第80回日本情報処理検定

【表計算二級】

大越 一樹

【表計算三級】

鈴木 義也

【表計算三級】

青柳 匠

【表計算三級】

高橋 悠樹

【表計算三級】

福田 好紀

【表計算三級】

木葉 泰輔

【表計算三級】

高林 将太

【表計算三級】

富川 健太

【表計算三級】

高橋 哲哉

【表計算三級】

安藤 瞭

【表計算三級】

実用英語技能検定

【二級】

富川 健太

【二級】

高橋 哲哉

【二級】

安藤 瞭

【二級】

桜井 洋介

【二級】

佐藤 雅俊

【二級】

鈴木 健祐

【二級】

鈴木 康平

【二級】

飯田健太郎

【二級】

斉藤 大輔

【二級】

佐藤 楓

【二級】

普通救命講習修了

48名

船越 貴裕

【普通救命講習修了】

大矢 亮太

【普通救命講習修了】

徳本 祐太

【普通救命講習修了】

若井田 翼

【普通救命講習修了】

直人

【普通救命講習修了】

佐藤 楓

【普通救命講習修了】

船越 貴裕

【普通救命講習修了】

大矢 亮太

【普通救命講習修了】

徳本 祐太

【普通救命講習修了】

若井田 翼

【普通救命講習修了】

中 学 校

新年度を迎えて

副校長 敬 子
上 野 敬 子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新緑の季節を迎え、新しい環境にも慣れてきた頃でしょう。これからの皆さんの学校生活が、素晴らしいものとなるよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、高等学校と中学校あわせて三百二十三名の新入生の皆さんをお迎えした今年度は、本学園にとって建学百年という記念すべき年にあたります。また、平成十七年四月に、中学・高校六年間の一貫教育を目標に産声をあげた附属中学校も今年で六年目となり、中学一年生から高校三年生まで全ての学年を揃える完成年度を迎えました。

今改めて五年前の開校当時のことを振り返りますと、満開の桜の下、まだ表情にあとけを残し、多くの

高校生のなかで、少し不安な表情で入学式に臨んでいた第一期生のことを、まるで昨日のことのように思い出します。その一期生も、今では立派に成長し、勉学や運動、あるいは生徒会活動や学校行事などで、クラスや学校全体の中心人物として活躍していることを様々な場面で伝え聞きます。どんなことにも、全力で立ち向かうという教えを実践している姿は、附属中学の誇りであると同時に、後輩達の目標にもなってくれています。

本校に入学された皆さんも、これからの六年間で大きく成長されることでしょう。未来への希望を胸に、文星という大樹のつぼみとなった皆さんが、今後、どんな花を咲かせていくのかとても楽しみです。本校には、皆さんのやる気次第で、その力を存分に発揮できる場が用意されています。毎日を元気に過ごし、勉学・運動に精一杯努力精進し、皆さん一人ひとりの素敵な夢を実現させて下さい。

建学百年を迎える今年度は、生徒・教職員一丸となり、本校の建学の精神である三敬の教えとライオン主義についてもう一度深く見つめ直し、実践して参りたいと思います。

一、自己を敬へ
一、他人を敬へ
一、仕事を敬へ

という三敬の教えは本校の教育の柱です。ここでの「敬」とは大切にすること、という意味で「自己を敬へ」とは、自分を大切にしないといふことです。「他人を敬へ」とは、他人の気持ちを考え接しなさいということ。「仕事を敬へ」とは、皆さんにとつての仕事は勉強になりますから、勉強に懸命に取り組みなさいということです。これらの教えは、世の中がめまぐるしく流動しても不変の大切な教えです。また、「獅子象を擒うるに其の力を全うし、兔を擒うるにも其の力を全うす」というライオン主義は、どんな状況にあつても弱音を吐かないことを心に固く誓って行動する指針です。皆さんには、卒業するまでに、この二つの教えを体得実践し、あらゆる面で成長を成し遂げて下さい。ともに協力し、新たな学園の歴史を築いていきましょう。

十六名の一年生を迎え、四十八名で平成二十二年度がスタートしました。礼儀正しく、真摯な態度で勉強や運動に励んでいる皆さんの姿を見てると立派な文星健児であることに、誇りを感じます。その皆さんに激励の言葉を贈りたいと思います。

学年主任 子
松 本 悦 子

学問するにあたり

諸葛孔明の「誡子の書」のなかに「学問は静から、才能は学から生まれる。学ぶことで才能は開花する。志がなければ学問の完成はない。」というくだりがあります。学問は、孤独との戦いでもあります。崇高な志があればこそ、成し遂げることができるものです。そして、素晴らしい才能を開花させるには冷静な心、言い換えるならば穏やかな心で物事をとらえることが必要です。これから日々努力し、自分を磨いていってください。

二年一組担任 阿部陽介
昨年度に引き続き、皆さんの担任になれたことを嬉しく思っています。昨年度一年間で見違えるほど成長した皆さんが、今年一年どのような成長をみせてくれるのか、想像するだけでわくわくします。きっと私の想像をはるかに超えてくれることでしょう。二年生でも、和をもつて輪となり笑顔の絶えないクラスを全員で目指していきましょう。そうすれば、きっと楽しい一年になるでしょう。

クラス担任・副担任より

一年一組担任 阿久津俊彦

新入生十六名を迎えて、平成二十二年度がスタートしました。中高一貫の完成年度に入学してきた君たちが、これからの六年間、どのように成長していくのか、本当に楽しみです。クラスみんなで決めた学級目標に向かって、日々努力していきましょう。君たちならきっと達成できるはずです。最後に、六年間級友たちと切磋琢磨し、勉強に、スポーツにと全力で取り組んで、実りある学校生活を送ってほしいと思います。

三年一組担任 稲澤雅夫
一年生、二年生のホップ、ステップを経て、いよいよ大ジャンプの三年生を迎えましたね。今年は、中学校最上級生であると同時に高校生予備軍でもあるわけです。そう考えるとおのずと気が引き締まり、勉学はもちろんのこと、さまざまな場面で「三年生であることの自覚」が要求されてきますね。大いに期待しています。これから一年間で、このクラスはどんなドラマを作り上げていくのか興味津々です。

副担任 安達可代子

みなさんが一年生だったとき、私は教科担任として初めて顔を合しました。幼くてあどけなさが残っていたのを覚えています。二年がたち、みなさんは最上級生として立派な顔立ちになりました。私も二年前とはちがうクラスの雰囲気を楽しんでいます。学校生活では、勉学や行事などやるべきことがたくさんあります。その中で「文星中に入ってから、十六人(クラス二人)の仲間と一つでも多く見つけていきましょうね。」

新任教職員紹介

横山 恵子
国語科

春は、新しい何かが始まる予感に心浮き立つ季節ですが、今年の春は私にとってことのほか印象深い季節になりました。それは、文星芸大附属中・高の皆さんとの出会いがあったからです。公立中学校での経験しかない私は、私学の、それも中高一貫校での勤務ということに戸惑いがありました。でも授業が始まると、それは杞憂であったとわかりました。元気で明るい生徒の皆さんは、私に常に新しい力を与えてくれます。

ところで、国語科で学習することは単に「読み」「書き」「考える」ということにとどまりません。授業で触れる優れた文章は、生徒の皆さんの人間性を育む糧となります。そして、国語の学習の中で得る論理的思考力、コミュニケーション力、表現力はどれもこれからの世の中を生きるうえで大切な能力です。生徒の皆さん、大いに考え、語り、表現していきましょう。

大石 雅美
数学科

本年度より数学科担当になりました大石です。数学は苦手だという人は多いですが、どうやったらその数学が楽しめるようになるのでしょうか。方法はいろいろありますが、一番の近道は出来るようになることです。そう、そんな大変と思うでしょうが、発想の転換です。それは、間違いを気にしないで解くことです。そして自分の間違いの原因を発見して楽しむことです。そうすると発見が喜びに変わり、いつの間にか数学が出来るようになり、好きになつていくでしょう。そして数学だけでなく、失敗を恐れずに挑戦する気持ちも成長します。私が数学を通して皆さんに学んでもらいたい事は失敗してもあきらめず行動することです。何か大きな問題にぶつかった時に解決するための発想と知恵を数学の授業を通して育んでほしいです。

私の授業で数学に出会ったのも何かの縁。数学に全力を注いでいきましょう。

田代 民代
事務職

四月から非常勤の事務職として勤務することになりました田代です。文星の職員の一員として本校に足を踏み入れた時、不慣れなことが多く不安がありました。が、生徒たちは明るく、また文星の皆さんに温かく受け入れていただき、少しずつ慣れてきました。

私は、今まで看護師の道を歩んでまいりました。病気で入院生活を送っている人たちの気持ちが変わり、命が有限であるということにも気づきました。そして、移り行くこの世のさまざまな事象に深い意味を感じ、また日々の生活の中で涙と笑いの泉を見出しながら、今を一生懸命に生きていくと思うようになりました。

まだまだ覚えることはたくさんありますが、皆様の御指導のもと一生懸命頑張りたいと思っています。どうかよろしく願ひします。

自分との約束

～新入生の言葉～

新入生に今年一年間を通して自分との約束を作文にしてみました。

一年一組 岡本 一仁

僕の一年間の約束は、二つあります。それは文武両道と思いやりです。

一つ目の文武両道は、勉強をしっかりやって、スポーツも頑張ることです。勉強は一日にやる時間をきちんと決めて、苦手な科目を中心にして勉強したいと思っています。スポーツでは、苦手なものにチャレンジし、ひとつひとつ克服して、得意なものを増やしていきたいと思っています。そして、さらに体力をつけたいと思います。

二つ目は、思いやりです。常に相手の立場や気持ちを考え、思いやりの心をもって、人に接したいと思っています。

この一年間、文武両道で勉強とスポーツを頑張りたい、思いやりの心を忘れずに学校生活を送っていききたいと思っています。

一年一組 田崎 穂積

僕の今年の一年間の約束は、だらしのない生活をせずに生活リズムを整え、勉強と部活に一生懸命取り組むことと、感謝の気持ちを保持して日々人と接することです。

初めに掲げた約束ですが、僕は、小学六年生になってから、朝起きるのが遅く、寝る時間が十一時以降になってしまふことが多々ありました。だから、中学生になって勉強も部活も大変ですが、生活リズムを整え、気持ちよく勉強して、一生懸命部活をし、一年間過ごしていきたいです。

次に二番目の約束ですが、僕は、常に親に感謝しています。それは僕のためにいろいろなことを考えてくれているからです。中学校では小学校とは違い、さらにたくさんの人々に支えられて生活していくと思います。だから親だけでなく、先生やこれからお世話になる人への感謝の気持ちを常に持ち、気持ちよく一年を過ごしたいです。

一年一組 手塚 駿

この一年間で僕が頑張ることは、勉強と運動です。運動は五年生の時からあまりしていないので、もっと体力をつけて、通学だけで疲れてしまわないようにしたいです。

そして、一番の目的は勉強です。僕は、勉強がもっとできるようになるためにこの文星に入学しました。中学校に入学する前に父とある約束をしました。その約束とは「やるからには一生懸命やる」という約束です。今僕が、この学校で学べているのは、僕を支えてくれている家族のおかげです。そして、優しい両親に親孝行をしてあげたいと思っています。そのためにも、もっと勉強して、良い成績を取るために、この一年間毎日時間と予定を守り、ケジメのある毎日を過ごす努力をすることを約束します。口だけで終わらないために、今から予定をたて、毎日少しずつコツコツ努力をし、父との約束を果たし、親孝行を少しでもしていききたいと思っています。

宿泊体験学習

鹿沼自然体験
交流センター

中学校では、四月二十二日(木)から二十四日(土)の二泊三日間、鹿沼市自然体験交流センターにて宿泊体験学習を行いました。

残念ながら天候にはめぐまれなかったものの、上級生が新入生をサポートし、ウォークラリーや野外炊飯などを縦割り班で行い、学年の枠を越えた交友関係を築くことができました。

生徒の感想

一年一組 齋藤 祐貴
三日間の宿泊研修を終えて、いろいろな経験をする
ことができました。

一日目は、がっこ山へハイキングに行きました。途中で、生えていたヒメオドリコソウ、シロツメクサなどの野草の話を聞いたりしながら頂上まで登りました。とても自然を楽しむことができました。夜には、みんなで盛り上がりつつあったまくら投げは、とても思

い出になりました。

二日目の午前中は、野外炊飯で、けんちゃんうどんを作りしました。うどんは粉の状態から作りしました。こねて、足で踏んで、棒で伸ばすなどの作業をやったので、とても疲れました。しかし、自分たちで作ったうどんは格別においしかったです。午後はウォークラリーをやりました。班のみんなで協力して、問題を解きながら進みました。問題の中には難しい問題もありましたが、ヒントなどをもとにして、頑張つて解くことができました。

この宿泊研修に行つて、クラスにも馴染むことができました。とてもいい経験となりました。

二年一組 福田 紀泰

今回の宿泊体験学習は、とても楽しいものになりました。雨が降ったことは残念でしたが、雨が降った時にしか体験できないこともあるので、良かったと思います。僕は、雨の日に山に登ったのは、初めてでした。笹と竹の違いや、触れてはいけない漆などの植物につい

て、がっこ山では様々なことが学べました。良い体験となりました。

キャンプファイヤーは雨のためできませんでしたが、代わりにキャンドルサービスでは、一年生から三年生までの出し物を見ることができ、楽しかったです。自分たちの出し物も、とても良かったと思います。僕たちのグループでは、ビンゴゲームをしました。グループの人たちのおかげで、サクサクと進行することができました。そのことに加えて、上手な司会でもとても盛り上がることができました。

三年一組 小林 弘和

僕は、宿泊研修で行った活動の中で、心に残った三つの体験を書きたいと思います。

一つ目は、がっこ山ハイキングです。途中の道では、春の七草の一種ナズナ等、様々な野草を見つけたことができました。さらに、道中では、小動物が食べたマツボックリも見つけることができました。リスが食べたマツボックリは、器用に芯だけが残っていて、ネズミ

は、手が使えないということもあり、土の上に出ている部分だけを食べている痕跡が見られました。

二つ目は、けんちゃんうどん作りです。隣の班は具材を入れる前から油でフランベになっていました。分かったことは、料理は意外と何とかなってしまうということです。

最後に三つ目は、キャンドルサービスです。火の女神の火が暖房の風で消えてしまうというアクシデントはありましたが、三年生三人の活躍や猛獣狩りなどで盛り上がり、稲澤先生のおりがたい話で締めくくられました。

この体験を通じて、友達や自然の大切さを改めて感じるようになりました。



うどん作り

日本伝統文化(茶道)

今年度は年間行事の一つとして、日本伝統文化に触れる目的で茶道を実施することになりました。茶道裏千家の高山典子先生をお招きして、月に一度、茶道を通じて礼儀作法の基本と気配りの心を培いながら、自己の品格の向上を目指していきます。

一回目の茶道教室が五月一日(土)にありました。茶道の歴史に触れ、お辞儀の仕方やお茶のいただき方、お菓子のいただき方を学びました。初めてお茶をたてる生徒が多く、なかなか上手にたてるのが難しいようでした。

このような伝統文化に触れる機会が少なくなってきた昨今で、茶道を通じて日本の文化に興味・関心を抱いてくれることを期待しています。



お茶をたてる様子

部活動大会結果

五月二十日(木)～二十一日(土)に春季宇河地区大会が行われました。各競技の結果は次のようです。

バスケットボール

対 陽北中 一回戦敗退

ソフトテニス

団体

対 鬼怒中 一回戦敗退

個人

一回戦敗退

赤澤(三年)・赤上(三年)

菊池(三年)・齋藤(二年)

徳本(二年)・野澤(三年)

辻(二年)・佐藤(二年)

剣道

個人

三回戦敗退

横山 圭介(三年)

一回戦敗退

佐々木 裕(三年)

各部活動とも三年生にとって最後の大会となる、七月の総合体育大会に向けて頑張っています。今後とも応援よろしく願います。





平成22年度 生徒会役員

会長	3年1組	横山 昂司			
副会長	3年3組	橋本 拓弥	3年7組	神山 剛久	
総務	3年14組	野尻 昌宏	2年8組	田所 政毅	
	2年4組	山根聡太郎	1年4組	大平 直也	
	1年11組	大塚 涼平			
庶務	3年11組	岩渕 解	3年10組	根本 良平	
	1年8組	入江 優知	1年11組	木村 達也	
会計	3年4組	鈴木 東	3年13組	齋藤 和鷹	
会計監査	3年12組	二木 力史	3年14組	高林 将太	

文星フォトギャラリー

